



- ① 女川町の国道398号・崎山トンネルも同社が施工。地域の利便性がさらに増した。
- ② 建設工事に参加し、ネーミングライツも取得した「マルホンまきあーとテラス」。
- ③ 本社での打ち合わせ風景。女性がいきいきと活躍できる環境も整っている。
- ④ 清潔で広々とした本社オフィスには総務部、安全部、技術支援部などが入る。
- ⑤ 漁港・港湾などの海上土木工事施工に欠かせない船も自社で3船団を所有する。

TOP MESSAGE

会社の魅力や求める人材など
皆さんへのメッセージ

広い視野と向上心を持つ 多様な人材を求めています！

私たち「丸本組」は、創業78周年を迎えさまざまな時代を乗り越えてきました。特に東日本大震災時は、ゴールの見えない絶望の中、最前線で復旧・復興に尽力し、地域建設業としての矜持を示しました。その際に感じたことは、地域建設業は絶望を希望に変えることができる産業であり、そこに現場の人間として関われる尊い仕事であるということです。そんな地域建設業の一翼をぜひ担ってみませんか。弊社の企業理念である「空から見える、いい仕事。」に共鳴してくれる方、地域に根ざし、地域のために活躍してくれる方、お待ちしております。



陸・海・空で
未来の宮城を
ともに創りましょう！

代表取締役社長
佐藤 昌良

総合建設

株式会社丸本組

まるほんぐみ



採用ページ
(自社HP)



震災の経験を活かし、防災対策が万全に施された本新社屋(石巻市)。

地域の基盤づくりを通し
住む人の安心・安全を守る

1946(昭和21)年創業の「丸本組」は、石巻市を中心に、県内5カ所に拠点を置く総合建設会社。「空から見える、いい仕事。」を企業理念に掲げ、新しいふるさとづくり、まちづくりに挑戦している。事業は土木、建築、漁港・港湾、都市開発と幅広いが、柱となるのが土木と建築だ。土木はインフラ整備をはじめ、住む人の生活に関わる「まちづくり」を陰日向に支える重要な仕事。入社28年になる土木部土木課・工事所長は、「東日本大震災後、道路や港湾の復旧・復興整備を担ってきました。地域の皆さまのより安全・快適・便利がいに貢献できることがやりがいにつながっています」と語る。一方の建築は、クライアントのニーズを最優先に、時代に即したデザインと機能を持ち合わせた建物を建設する仕事だ。医療・福祉施設、各種産業施設など実績は豊富だが、なかでも2021(令和3)年に建設に携わった石巻市複合文化施設「マルホンまきあーとテラス」は大きな話題となった。入

社18年目の建築部建築課・工事所長は、「建って終わりではなく、その後、何十年も利用される建物なので、利用者さまが使いやすい建物を作ることを心がけています」と話す。

DX化で健康経営を推進 誰もが働きやすい環境へ

かつて建設業界は3K(危険・汚い・きつい)と言われてきたが、近年は様々な変化が訪れている。「丸本組」も給与や労働時間・休暇の見直し、社内イベント推進などの健康経営に取り組みとともに、DX化による生産性向上、BCP(事業継続計画)の充実に努めており、「自分のやりたいこと」を実現できる社風が息づいている。資格取得制度をはじめとする社内制度が手厚い点も魅力だ。地域に必要とされる建設業。その役割も複雑化・多様化しており、若手社員のまっさらな視点が必要とされている。地域に愛着を持ち、地域の人々の幸せを考えられる人ならば、現場技術者として大きくスキルアップできることだろう。

地域の未来づくりを支える
「空から見える、いい仕事。」

会社情報 & 採用データ

- 設立 1946年5月
- 代表 佐藤 昌良
- 資本金 1億円
- 従業員数 198名(男169名/女29名)

〒986-0868
石巻市恵み野3-1-2
TEL/0225-96-2222
FAX/0225-93-9168

- 初任給 大卒228,200円、専門卒213,600円
※いずれも現場手当含む
- 福利厚生 社会保険(健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険)、資格取得支援制度、奨学金返済支援制度、家賃補助制度
- 休日休暇 年間113日。土・日曜、祝日(会社カレンダーによる)、夏季休暇、年末年始休暇
- 採用担当者連絡先 TEL.0225-96-2222(総務部HR課 木村)
✉ kimura@maru-hon.co.jp

募集職種 土木・建築施工管理職 (正社員)

- ☒ インターンシップ受け入れ/あり